



みんなで子育て No.5

夏真っ盛り、家庭教育学級が多様

各務原市立那加中学校区

「ほめ効果」

(講演会型+体験活動型+サロン形式)

開催日：7月31日(火)
講師：一般社団法人
ほめる達人協会
講師 高橋恵美氏



- ・PTA会長のあいさつ：家族の話からほめる事への関心が高まったの参加
- ・教頭より ねらい：①ママ友になる。②子育てでほめるスキルアップ
- アイブレイク：誕生日順に並ぼう 自己紹介
- ほめるとは：人・モノ・起きる出来事の価値を発見して伝える。
- ほめることの効果 人をほめれば自分も
- ワーク 1.変換(見方を変える)
2.同じ指示でも 同じ絵はできない
3.出来事の価値
4.家族のプレゼン
- 3S+1(すごい さすが、すばらしい+おいしい)で相手を認め、意欲を喚起
- 世の中で起きる事への自分の構え



コメント

講師はPTA役員をされていた方です。講師の苦労や努力が実にリアルで共感を呼び、説得力があります。ワークを通じてスキルが向上したり、継続への意欲が高まったりすることができます。

中学校区の取り組みが良いですね。多くのつながり(ママ友)を生んでいます。

<感想等>

- ・ほめることの効果はもちろん、ピグマリオン効果についてもとても関心がありました。わが子を信じることで、それが成長につながると思います。日常を見直し、小さなことから褒めていきたいです。また、今日は那加中校区の合同研修会ということで、今まで関わったことがない方とお話する機会が持て、とても良かったです。
- ・今日学んだことを家族、周りの人たちに対して、活かしたいです。帰ったらすぐ始めようと思います。そして、子どものことを信じるようにしたいです。講師の方が、同世代の子どもを持つ親さんだったので、親近感がわき、共感できることばかりで、とても聞き易かったです。

瑞穂市立西保育・教育センター

風船バルーンショー

(行事参加型+体験活動型)

開催日：8月10日(金)
講師：ふうせん太郎さん



- 講師が風船を一気に膨らます、鼻でも膨らます、風船で花を作る、渦巻きを作る、飛ばす等、風船遊びや楽しいお話で、面白く、にぎやかで、安全な活動をしました。
- ・風船の国からふうせん太郎がやってくるお話が導入。保護者会会長による朗読
- ・バルーンでマジシャン・侍・天使に変身
- ・風船に入っちゃった・みんなで風船遊び



コメント

いつ割れるかわからない。ドキドキわくわくの風船ショー。いろいろなものに変身する。まさか人が風船の中に入れる。といった「ビックリ・楽しい」の活動でした。講師の巧みな話術と、安全への配慮が楽しさを倍増しています。子どもたちの素直さが輝いて見えました。

<感想等>

- ・風船ショーも楽しかったですが、明るい太郎さんのお話しぶりも、笑わせてもらえて、良かったです。子どもも喜んでいました。
- ・子どもが風船の中に入ったところがすごかったです。みんなの笑顔がキラキラしていました。
- ・子どもが選ばれて、喜んでやっていたところ、大きな風船に入ってジャンプしたところが良かった。保護者会長さんの紙芝居、すごく上手でした。

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動

本年度版リーフレット(A4版)を、幼稚園、小学校1年・4年、各市町の公共施設に配布しました。「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の周知を図るためです。皆様に5月のリーダー研修会で交流していただいたおかげで実践が広まりつつあります。交流するという事がとても大事だと感じました。事例を紹介していただいた、所・園・学校の皆様ありがとうございます。

今回紹介する所・学校は他のところで実践された内容をアレンジして進めています。家庭教育学級のネットワークが生かされていると感じます。リーフレットを載せました。岐阜地区の事例の紹介もあります。

子どもや保護者の声

実践されたご家庭からは、「約束」をきっかけに家庭内のコミュニケーションが深まると同時に、子どもたちの力が無理なく伸びた、親としての子どもへのかわり方を見直すことができた等、うれしい報告をたくさんいただいています。

どようがを上手に巻くことができ、みんなに「きれいだね」と言われてうれしかったです。(小学生)

スマホから離れる時間が進みました。これから受験に向けて自分からもっと離れていけるようにがんばります。(中学生)

がんばり姿にシールをはるという目標があったので、本人も家族も生活にゆとりができてよかったと思います。(保護者)

園遊会指導で釣籠もちを教えてもらって、いつもより丁寧にみがくことができていました。俺が丈夫になってお婆さんになるまで使えるといいね。(小学生)

リビングで学習しているので、勉強中はテレビを消しました。また、土日に勉強する時は、となりで一緒に仕事しました。(小学生)

早く起きることで、時間に余裕ができ、朝自身もスッキリとした生活リズムで生活できるようになりました。(中学生)

岐阜県のホームページをご覧ください

岐阜県 家庭教育 検索

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カードや「家庭教育プログラム」などの関係資料を掲載しています。

問合せ先

岐阜県環境生活部環境生活政策課
〒500-8570 岐阜市飯田南 2-1-1
TEL 058-272-8752

平成29年度

「あったかい言葉かけ運動」より

ぼくは、いつもねる前におばあちゃんに「おやすみ。」と言います。すると、お母さんが「えらいなあ。ちゃんとあいさつしてすていね。」とほめてくれます。そして、ふとんに入ったら、「お母さんの子が○○で本当によかった。」と言ってくれます。するとすこくうれしい気持ちになり、心も体もあたたかくなります。

本巣市真桑小学校

家庭における毎日の温かなかかわりの中で、子どもの心が安定し、家庭に確かな居場所があることが伝わってきます。

家族の絆を深めるために

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動はいかがでしょう?

どのように取り組むの?

- ① 家族で話し合って「わが家の約束」を決定する
- ② 取組を実践カードに記録する
- ③ 実践後、家族で互いの思いを伝え合う
- ④ 次の約束(実践)を話し合う

誰が取り組むの?

- ◆ 子ども
話し合って決めた「約束」を意図して生活します。
- ◆ 保護者
子どもをほめたり励ましたりして、子どもの成長を応援しましょう。
- ◆ 家族一人一人
子どもだけの約束にならないような工夫があるとよいです。
(例:「お父さんは○○するよ。」「家族全員で○○しよう。」等)

家庭は子どもの心と体を育む原点です!

- ▶ 心身ともにたくましく、賢く生活できる人間に育ちます
- ▶ 子どもの心が安定し、心のコップが満たされます
- ▶ 「約束」をきっかけに家庭内のコミュニケーションが深まります

どんな約束をするといいの?

- 親子一緒に本を読む(幼稚園)
- おはようとおやすみのあいさつはハグをしながらする(小学校)
- 一緒に夕食を作る(小学校)
- 子どもは家庭学習をして、保護者は読書をする(中学校)
- メディアは1日1時間まで(中学校)

平成29年度の例(一部)

約束で子どもをしぼるわけではありません。

「約束」はきっかけです。



清流の国で

子どもたちの健やかな成長のために

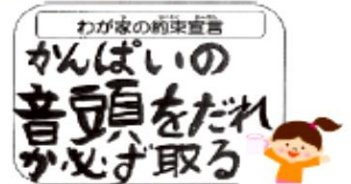


岐阜県は、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

実践事例を紹介します

各務原市立那加第一小学校.....



いつもお仕事お疲れ様。疲れて帰ってくるから笑顔で「おかえり」としが言えないけれど、せめて食事のはじまりを乾杯の音頭で楽しもうね!(子ども)

いつも笑顔の「おかえり」をありがとう。家族でそろって食事をとって、一日の頑張りに乾杯をすることはとても幸せなことだね。巣立つまでみんなで食事しようね!(保護者)

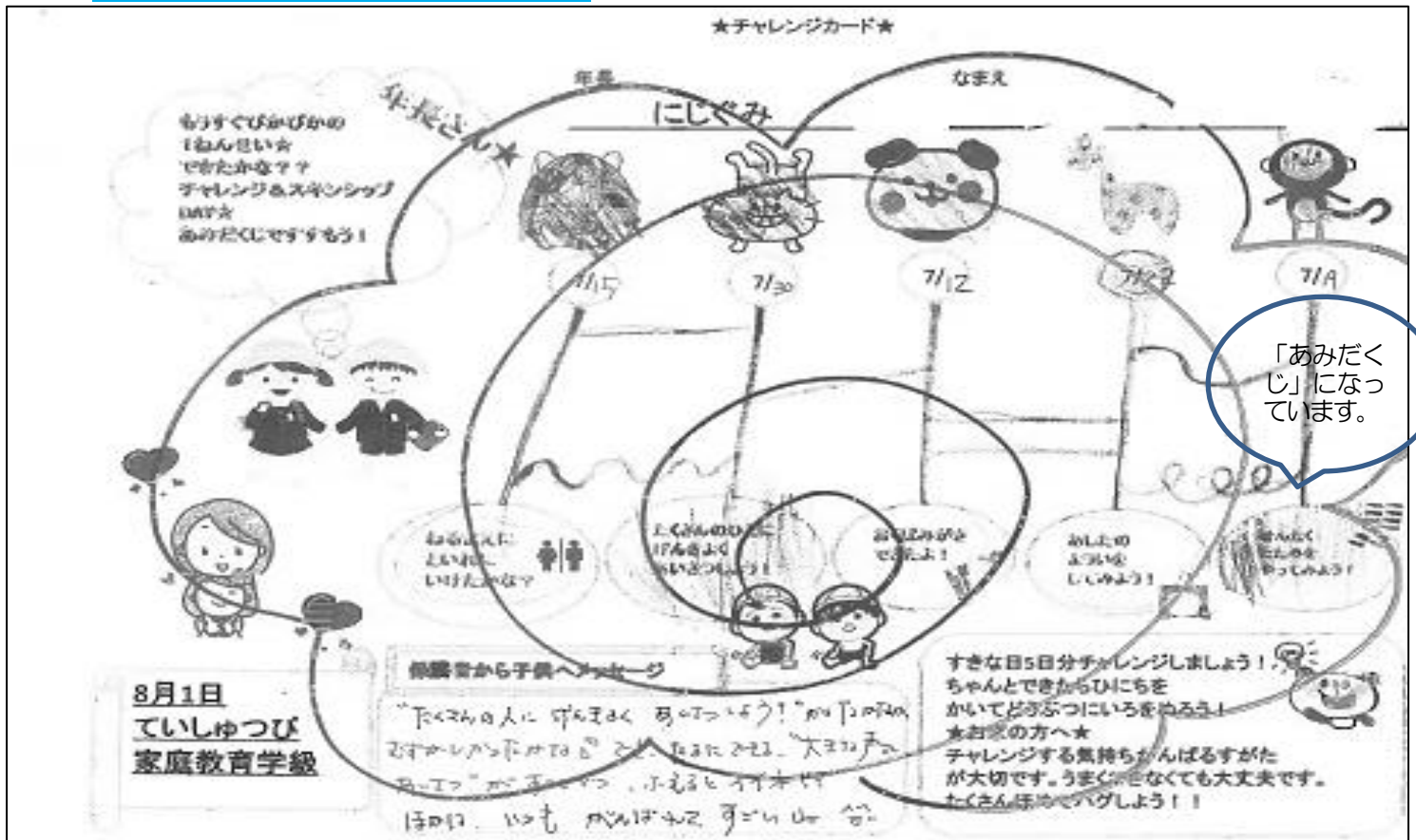
郡上市大和地域.....

大和地域保健連絡会が中心となり、乳幼児から中学生までの心と身体の健康増進を目的に地球くるみの活動が行われています。

大和南小学校
大和第一小学校
大和北小学校
大和西小学校
大和中学校
幼児教育センターやまびこ園

わが家の約束実践事例の紹介

①瑞穂市立西保育・教育センター できるかな？チャレンジ&スキンシップday★

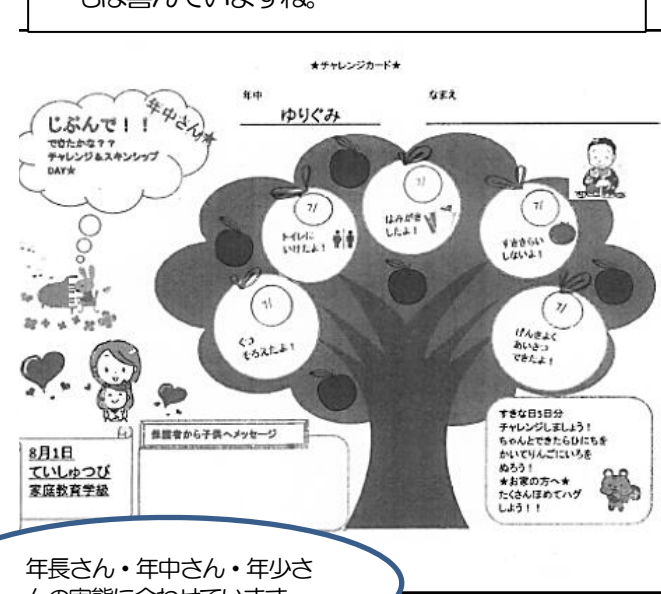


活動内容は「褒める、ハグ」

- ① 期間中に、1日1つチャレンジしよう。
 - ② チャレンジできたら、たくさん褒めて、ハグしましょう。
 - ③ 日付を書いて色を塗りましょう。
 - ④ 期間：7月9日から7月31日の間の5日間
- 「褒める事、ハグする」を目的にした取り組みです。この活動は同じ市内の「南保育・教育センター」で前に実践されたということです。互いに実践を交流する中で、やってみることが大事ですね。カードに工夫がありますね。また、短い期間ですので、やってみようと思えることも工夫の一つですね。

【実践された方の感想】

- ・この取り組みによって やろうという意識が出てきた。
 - ・やってよかったという声が多い。
 - ・1つ1つの事をやろうという意識で、やっていなかった事ができるようになった。
 - ・終わっても、継続できている。
 - ・やれた時に、褒めて・ハグして意欲が上がっている。
- 「褒める・ハグ」の効果が出ていますね。子どもは喜んでますね。



年長さん・年中さん・年少さんの実態に合わせています。

②本巢市立真正中学校

「家庭学習取組強化週間」

「ノースマホ・ノーゲーム・ノーTV週間」わが家の約束づくり

「家庭学習取組強化週間」「ノースマホ・ノーゲーム・ノーTV週間」わが家の約束づくり
年 組 番氏名



＜期間中のわが家の約束書き＞親子で話し合って決めましょう。
☆何から何まで勉強を見たりゲームやテレビの時間を削る。
学習会に遅れて参加
学習会を休むとめて3時間以上学習する

＜わが家の約束＞例：学習を始める時間を決めて、家族みんなで声をかけて協力する。
期間中は、家族全体でテレビの時間を〇〇時間に制限する。
スマホやゲームをこの期間は、親に預けて学習に集中できるようにする

＜実施状況の見届け＞

月・日	曜日	わが家の約束 実施状況 (○・△・×)	学習時間 (塾の時間を含む)	TV・スマホ・ ゲーム時間
6月 8日	金	○	3時間 00分	0時間 00分
6月 9日	土	○	3時間 00分	0時間 00分
6月10日	日	△	3時間 00分	6時間 30分
6月11日	月	○	3時間 00分	0時間 45分
6月12日	火	○	4時間 0分	1時間 20分
6月12日	水	○	4時間 0分	0時間 30分
6月14日	木	○	4時間 0分	0時間 00分
合計			24時間 00分	9時間 05分
平均			3時間 42分	1時間 01分

＜取組後の感想＞

少しの約束が案外約束守れたから、たのび、学習時間12日 30時間
ほめることができたよ、よかったよ

＜保護者の感想＞保護者の方に記入をお願いします。

初めての中間テストでしたが、自分なりにテストのための学習を工夫して
やれていました。家族としても「TV、ノースマホ」で協力しました。
久しぶりに読書にのめり込めたので、来週には「TV、ノースマホ」を
※6月18日(月)に担任に提出してください。

活動内容 定期テスト前の期間 家族ぐるみ

事前に(5月ごろ)案内を配布し、目標を家族で話し合
合って決めます。以前はテスト勉強の取組表に入れてい
ましたが、取組を明確にするためにこの表を作成しまし
た。取組始めて数年になります、保護者には好評です。

取組の評価と、その時間、学習時間を入れることで、
意識の継続が出来ています。個々での評価反省が行われ
ていますが、PTA全体としても取組の評価アンケート
が行われ、結果を保護者への配付、HPに公表されてい
ます。取組に素直に対応する保護者や、集計をしてい
だしている教頭先生に脱帽です。

この取組を通して、スマホ・TV・携帯に関する話し
合いが家庭でできていることが重要な意味があり、校区
の小学校も一緒に関わり、継続されてきていることから、
学校・家庭・地域の安定感を感じます。

【実践された方の感想】

(生徒)

・＜わが家の約束＞

スマホを親に預けて学習に集中できるようにする。

＜取組後の感想＞

毎日テストに向けて、集中して学習することができた。こ
れからもたくさん勉強できる習慣をつけておきたい。

(保護者)

・テレビを全くつけない、ゼロにして、実行しました。その
おかげで、普段読まない新聞を読んだり、勉強も集中して
取り組んだりしていました。本当によい取組でした。親子
の会話も増えて、良いこと尽くしでした。

・スマホ、ゲーム、テレビも全く排除して勉強することはな
かなか難しかったけれど、弟や妹にも協力してもらい静か
な環境をつくることはやはり集中力につながったようで
す。・・・後略・・・

真正中学校PTAだより

参加 学習 連携
真正中PTA本部 8月30日発行

前期中間考査前に各家庭で取りんだ「ノースマホ・ノーゲーム・ノーTV」週間の取組後のアンケートへのご協力あ
りがとうございました。各家庭で、この取組の趣旨をご理解いただき、生徒の家庭学習をサポートする家庭での協
力や声掛け、見届けなどがたくさんありました。今回の取組は一例ですから、今後も家族で話し合い、約束を決め、
家庭でできることを子供と一緒にやって取り組んでみてください。表裏に、取組後の声を紹介します。

(回答数 457/489)
(回収率 93.6%)

No.	項目	はい	いいえ	回答数
1	子ども専用のスマートフォンがある。	223	234	458
2	子供はスマートフォンでSNSを行っている。	197	26	883
3	スマートフォンに、有害サイトの閲覧を制限するフィルタリングの設定がしてある。	156	67	700
4	インターネットに接続できるゲーム機がある	330	98	722
ご家庭で、スマホや、ゲーム、TVの視聴について、話し合っ て約束づくりを行った。(以下 複数回答可)		343	114	751
5	① スマホやゲームの使用時間を決めたり、TVの視聴時間を決めたりした。	295		
	② この期間中は、スマホの使用をやめた。	95		
	③ 期間中は、家族みんなで協力して、テレビやゲームの使用を控えた。	181		
	④ スマホやゲームの使い方について、家族で話し合い今後の使い方の約束を決めた。	164		
取組の効果はあったと思われませんか。(以下複数回答可)		267	190	58.4
6	① 家庭学習の時間が増えた。	202		
	② スマホなどの情報通信機器の使用について約束づくりができた。	125		
	③ 家庭学習の習慣ができた。	101		
	④ 学習に向かう集中力がついた	138		

話し合った
内容が分か
ります。

実際の効果
を読み取れ
ます。

正しい内容を知らせ、望む
姿を示しています。

文部科学省が毎年実施している中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の過去5年間の結果分析によると、家庭環境と学力の
間には、以下のような場合に子供の学力が高い傾向があるといわれています。

＜保護者の働きかけ・教育意識＞

□学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や地域や社会の出来事やニュース等、会話が多い。

□テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。

□子供に努力することの大切さを伝えている。

□子供に最後までやりぬくことの大切さを伝えている。

□自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。

□地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

また、世界保健機関(WHO)が極度のゲームへの依存状態を「ゲーム障害」と初めて認定しました。際限なくゲームをやり続けることで脳が強い快感を
得るために、より強い刺激を求めるようになり依存がエスカレートしていきとされています。

ネット上の危険から子供を守るために、ネット利用に関する約束を親子で話し合ひましょう。

・親子双方が納得した上で、ルールを決める。

・ルールを守らなかった時のペナルティを決める。

・保護者もインターネットの危険性について積極的に学ぶ。(今年度も、母親委員会が情報モラル研修会を計画しています。)

・子どもたちは、友達同士でそれぞれの家庭のルールを尊重する。

☆フィルタリングは子供を犯罪被害から守るために絶対必要です。フィルタリングサービスを利用しない場合は、正当な理由が必要です。(岐阜県青少年健全育成条例より)